



栃木県立小山南高等学校

校章の由来・・・南高の南（South）のSと思川の流れを象り、明るく・寛く・健やかさを表しています。



所在地 〒329-0205 栃木県小山市間々田23-1
 電話 0285-45-2424
 F A X 0285-45-8949
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/onan/nc2/>
 創立 昭和54年
 課程 全日制課程
 設置学科 普通科・スポーツ科
 生徒数 436名(男子267名 女子169名) (令和3年5月1日現在)
 利用交通機関 JR間々田駅からバス7分・徒歩30分

I 学校の概要

1 学校教育目標

- 誠実で判断力があり、自主的精神に充ちた、情操豊かな人間の育成を期する。
- 自他を敬愛し、勤労と責任を重んじる人間の育成を期する。
- 気力および体力の充実した、心身ともに健康な人間の育成を期する。

生徒指標

「明るく 寛く 健やかに」

2 目指す学校像

- 個々の生徒の特性や進路を見据えたきめ細かな指導をとおして、個性の一層の伸長と自立を図る。
- 豊かなスポーツライフの基礎を培い、生涯にわたってスポーツの振興及び発展に貢献できる人材を育成する。
- 集団活動や体験的な活動などの特別活動をとおして、より良い生活や人間関係を築こうとする主体的、実践的な態度を身に付けさせる。

3 募集する生徒像

本校の教育目標・目指す学校像を理解し、本校を強く希望する生徒で、次の（１）から（３）までのいずれかに該当する生徒

【普通科】

- （１）高い向学心をもち、何事にも率先してチャレンジできる生徒
- （２）明確な進路目的をもち、その実現に向けて学習活動に意欲的に取り組むことのできる生徒
- （３）ボランティア活動、委員会活動、部活動などに積極的に取り組み、社会貢献や自己の向上に努める生徒

【スポーツ科】

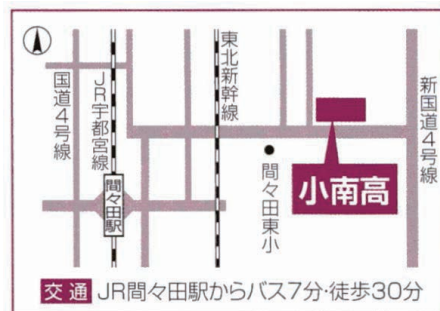
- （１）高い向学心をもち、何事にも率先してチャレンジできる生徒
- （２）競技力に優れ、将来、競技者や指導者を目指す生徒
- （３）スポーツを支えるさまざまな活動に積極的に取り組み、地域に貢献できる生徒

4 学校の沿革

昭和	54年	4月	栃木県立小山南高等学校開校（全日制普通科男女5学級）
平成	3年	4月	普通科体育コース導入
平成	12年	4月	スポーツ科設置
平成	21年	11月	創立30周年記念式典举行
平成	23年	4月	新制服導入
令和	元年	11月	創立40周年記念式典举行
令和	3年	3月	第40回卒業式举行(卒業生総数9651名)
令和	3年	4月	第43回入学式举行

5 施設

- ①野球場
- ②サッカー場
- ③陸上競技場
- ④第1体育館
- ⑤第2体育館
- ⑥武道場
- ⑦トレーニング場
- ⑧プール
- ⑨PC室
- ⑩健明寮 等



Ⅱ 学校紹介

1 学校の特徴

「明るく・寛く・健やかに」をモットーとして、清新澁刺(せいしんはつらつ)とした校風を築いています。生徒が希望する進路に進むことができるように、全力を尽くして基礎学力の充実・実力の伸長に努めています。また、進路実現のため、教科の学習はもとより資格取得にも力を入れております。さらに、スポーツ活動の振興を図り、生涯学習の基礎作りを目指しています。県立高校唯一のスポーツ科を有し、カヌーやウエイトリフティング部は全国大会出場の常連です。

2 学科の特徴

【普通科】

1年次は、基礎基本をしっかりと学習しながら、面接やガイダンスなどを通じて、将来の進路や適性を考えます。2・3年次は、生徒それぞれの特性や進路希望に応じ、文Ⅰ・文Ⅱ・理系の3コースに分かれて学習します。

文Ⅰコース

文系科目を中心に家庭科・情報科の専門科目も学習するコースです。就職・専門学校進学を目標にしつつ、大学・短大進学にも対応する幅広い教養を身につけることを目標としています。

文Ⅱコース

文系科目を重点的に学習し、大学・短大受験に対応する基礎学力を育成します。

理系コース

理系科目を重点的に学習し、大学・短大および、看護医療系の専門学校への進学にも対応する学力を養成するコースです。

【スポーツ科】

スポーツ科では21世紀の(する・みる・ささえる)スポーツを学びながら、将来のスポーツ文化の更なる発展に貢献できる人材育成を目指しています。そのためにも、スポーツのもつ本質的な部分を多くの実習や演習、多彩なスポーツに関する教科活動や部活動を通じて学んでいきます。

アスリートコース

アスリートとしての基礎知識、アスリートを支える人(トレーナー)としての基礎知識を学びます。様々な演習を通して、実生活に役立てる事のできるスポーツ科学を学習すると共に、アスリートとして自立できる資質や能力を養成することを目標とします。

＜主な学習内容＞

栄養学、トレーニング原理、テーピング演習、スポーツ概論、メンタルトレーニング、ヴィジョントレーニング、スポーツとモラル、ドーピングなど

コーチングコース

近代、現代、そして21世紀のスポーツと、スポーツの持つ歴史的な背景を学び、スポーツの本質や社会的役割について理解を深めます。将来、指導者として活躍できるための基礎理論や価値観について学習すると共に、スポーツ文化の発展に貢献できる資質や能力を養成することを目標とします。

＜主な学習内容＞

イギリス型スポーツ文化とアメリカ型スポーツ文化、21世紀のスポーツ、女性スポーツ、メディアとスポーツ、ジャーナリズムとスポーツ、スポーツとモラル、ドーピングなど

3 学校行事

4月	入学式、1学期始業式、面接週間	10月	中間テスト、コース決定個別面談、
5月	生徒総会、中間テスト		クリーンアップ大作戦（地域の清掃ボランティア）、2年修学旅行
6月	期末テスト、スポーツ大会	11月	創立記念式典、鶴翔祭（体育祭と鶴翔祭（学校祭）の隔年開催で、本年度は鶴翔祭）
7月	1学期終業式、保護者面談、夏季課外	12月	期末テスト、2学期終業式
8月	夏季課外	1月	3学期始業式、3年学年末テスト、予餞会
9月	2学期始業式、進路面接指導	2月	1・2年学年末テスト
		3月	卒業式、修業式



スポーツ大会



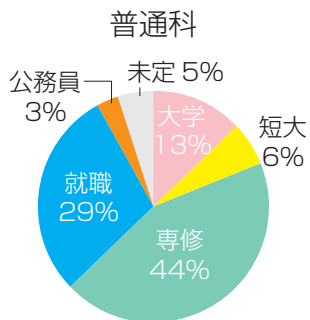
クリーンアップ大作戦



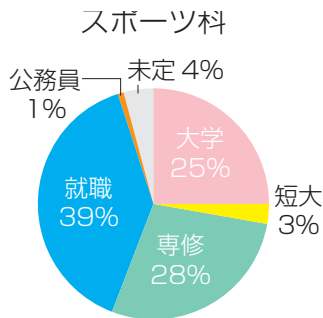
スノーボード実習（スポーツ科）

V 特色選抜

全
日
制



四年制大学	白鷗大学、東洋学園大学、作新学院大学、埼玉工業大学、群馬医療福祉大学、帝京大学、東京有明医療大学、日本体育大学
短期大学	佐野日本大学短期大学、國學院大学栃木短期大学、足利短期大学
専門学校	茨城県結城看護専門学校、国際TBC小山看護専門学校、晃陽看護栄養専門学校、関東職業能力開発大学校、等
就職	栃木県警察本部、自衛官候補生、タスク、ヤマザキビスケット、山崎製パン、ギンビス、日立ジョンソンコントロールズ空調、日本ライフライン、東京電力パワーグリッド 等



四年制大学	白鷗大学、東京女子体育大学、仙台大学、東洋学園大学、聖学院大学、作新学院大学、平成国際大学、ウエルネス大学、足利大学、関東学院大学、帝京大学、上武大学、東京福祉大学、駿河台大学、奥羽大学、
短期大学	佐野日本大学短期大学
専門学校	晃陽看護栄養専門学校、太田医療技術専門学校、国際TBC小山看護専門学校、関東職業能力開発大学校、マロニエ医療専門学校等
就職	自衛官一般曹候補、日産自動車、東プレ、ヤマザキビスケット、イワセ・エスタ東京、東京鐵鋼、日立ジョンソンコントロールズ空調、ギンビス、小松製作所、コマツ物流、日野自動車、神戸製鋼、三井化学東セロ(株)茨城工場、廣澤精機製作所 等

IV 部活動の紹介

【運動部】

(普通科、スポーツ科いずれの学科の生徒も入部できます)

- ①ウエイトリフティング部 (男女)
- ②カヌー部 (男女)
- ③サッカー部 (男)
- ④野球部 (男)
- ⑤バスケットボール部 (男女)
- ⑥陸上競技部 (男女)
- ⑦バレーボール部 (女)
- ⑧バドミントン部 (男女)



【文化部・同好会】

(普通科の生徒のみ入部できます)

- ①音楽部
- ②ボランティア部
- ③写真部
- ④美術部
- ⑤料理同好会



V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科 30%程度
スポーツ科 50%程度

2 出願するための資格要件

【普通科】

基本的な生活習慣と本校での学習に対応できる学力を有する者で、次の（１）から（３）までのいずれかに該当する者

- （１）明確な進路意識をもち、大学への進学を目指す強い意志のある者
- （２）部活動等に所属し文武両道を目指す強い意志のある者
- （３）社会貢献活動などに積極的に取り組む強い意志のある者

【スポーツ科】

基本的な生活習慣と基礎学力を身に付け、優れた競技力を有する者で、次の（１）から（３）までのいずれかに該当する者

- （１）カヌー部、ウエイトリフティング部に入部を希望し、競技力向上を目指すことのできる者
- （２）中学校において部活動等で活動し、高校でその経験を生かし、本校設置運動部の中核としてリーダーシップを発揮することのできる者
- （３）本校でのさまざまな学びを通し、将来地域スポーツへの貢献などに強い意志のある者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
作 文	時間30分 字数400字程度

4 その他、特記事項

・令和3年度県高体連重点強化拠点校(競技：カヌー（男女）、ウエイトリフティング（男女）)

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- （１）志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- （２）調査書は、「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計（135点満点）し、段階評価を行う。
- （３）調査書の点数化されない部分及び面接の結果から、部活動等の実績について段階評価を行う。
- （４）面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分(特に、部活動等の実績を重視)を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2、3、4の評価がいずれも優秀である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた受検者を対象とし、【資料の取扱い】の2、3、4の評価が、いずれも優秀または良好である者を合格内定とする。

第3次審議

第1次審議及び第2次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。



制服紹介



間々田東口まつりボランティア



進路体験発表会



進路学習



グランドゴルフ補助